

令和5年8月1日

幹事長談話

東京都議会自由民主党
幹事長 菅野弘一

本日の総会において、新役員が選出されました。これから1年間、新役員を中心に都政に邁進してまいります。

都の重点政策である人に焦点を当てた政策については、少子化対策、子育て支援だけではなく、特にコロナで疲弊した家庭や産業への支援について、立て直しも含めた支援を行うことが広域自治体としての東京都の役割として大きなものがあります。

現役世代にしっかり伝わり、実感できるような支援策を、都議会自民党は、具体的な取り組みとして今後提案してまいります。

また、コロナ禍において、企業単位、産業単位の支援のメインとして様々なメニューを進めてきましたが、今後は、疲弊している方々が実感でき、わかりやすい政策を理事者とやり取りしながら進めていきます。

また、介護の支援も含めた高齢者にとっての将来への不安をしっかりとなくすことも必要です。今後の人口減少の中で、東京の活力を上げていくためにも必要な政策と考えます。

そのほか、原油価格や物価高騰に対する機動的な対策、エネルギー確保、豪雨災害など自然災害に対する対策、保健医療政策、中小企業支援、教育の充実、都市インフラ整備、多摩島しょ振興など、都政の課題は山積しています。

東京の活力を維持、強化していくには、正確な事実の把握と都民への周知、実効性のある具体策の迅速な展開が欠かせません。

現在、都政が抱える重要課題を解決していくため、知事とはしっかりした議論を行い、東京の将来を見据え、地に足のついた政策を着実に実行していくことをお誓い申し上げます。

以上